

Affiliated with the International Association  
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI  
Chartered October 30, 1994



〒192-0911  
東京都 八王子市打越町 334-2-5-201  
花輪 宗命 TEL : 090-2213-0257  
Fax:042-636-6157  
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2023年 2月

The Service Club of The YMCA

第332号

## 東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	花輪 宗命	国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)
副会長	茂木 稔	主題 「輝かそう、あなたの光を」
書記	久保田 貞視	スローガン 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
会計	長谷川 あや子	アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen 主題:「新しい時代とともに エlegantに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」
直前会長	山本 英次	東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
ブリテン	山本 英次 茂木 稔 大久保 重子	あずさ部部长 後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 八王子ワイズ会長 花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

### 2月例会プログラム

(担当:C班 並木信一・茂木・大久保・山本)

日時: 2月25日(土) 18:00~20:00

会場: 八王子市北野事務所 2階大会議室  
(京王線北野駅徒歩5分)

\*受付:大久保メン・山本メン

\*司会:茂木メン

- 開会点鐘 花輪会長
- ワイズソング 一同
- ワイズの信条 一同
- ゲスト・ビジター紹介 花輪会長
- TOF 例会の主旨紹介 並木信一メン
- 聖書朗読・食前の感謝 並木信一メン
- 会食(おにぎり)
- 卓話「自然と共生するための国際協力とは」  
特定非営利活動法人「地球の友と歩む会」  
事務局長:米山敏裕氏  
(中央大学YMCA OB会「白羊会」会長)
- スマイル(地球上の飢餓に苦しむ人のために)大久保
- ハッピーバースデー 花輪会長
- 閉会点鐘 花輪会長

### 巻頭言

#### 1月卓話「協働の街をめざして」

久保田貞視

1月28日の1月例会において、八王子市協働推進課の長尾千恵主査より「八王子の市民活動」についての卓話をしていただきましたので概要報告いたします。

まず八王子市の概要では面積186Km<sup>2</sup>、人口56万人、市制1917年で105年目に当たり、関東でも8番目になる。当時の人口は42千人で、1941年以降隣村を合併して拡大した。

#### 先月の例会ポイント (12月)

在籍	12名	切手	海外	363g
		22~23年度		計1698g
メン	11名	現金		0円
メイキャップ	1名	累計		0円
出席率	100%	スマイル		9,100円
メネット	1名	累計		65,050円
ゲスト	2名	オークション		0円
ビジター	0名	累計		0円
ひつじぐも	2名			

#### 今月の聖句(2023年2月)

しかし、イエスは言われた。「あなたがたの手で食べ物をあげなさい。」彼らは言った。「私たちに、パン五つと魚二匹しかありません。まさか、私たちが、この民みんなのために食べ物を買に行けとでもいうのでしょうか。」というのは、五千人ほどの人がいたからである。イエスは弟子たちに、「人々をおよそ五十人ずつひとまとまりにして座らせなさい。」と言われた。弟子たちは、そのようにして皆を座らせた。イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それを祝福して裂き、弟子たちに渡しては群衆に配らせた。人々は皆、食べて満腹した。そして、余ったパン切れを集めると、十二籠あった。  
(新約聖書-ルカによる福音書9:13~17)

2013年策定の「八王子ビジョン2022」によれば、①人と人との支えあい、つながり②市民・行政のたがいの役割と責任ある行動による「協働」であったが、社会状況の変化や多様化、複雑化する市民ニーズ、地方分権の推進、効果的な市民ニーズに対応すべく2022年9月に、八王子基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」を作成。基本理念は、「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」として、みんなで目指す2040年の姿と取り組み方針を掲げている。

協働は八王子市と町会・自治会、市民活動団体、大学・企業と共通目的を持って協働のパートナーとして課題解決していく。特に、協働のパートナーが市民活動団体であれば、自主性、多様性、専門性、機動性を持ち、活動の対象は公益＝利他、目的は社会に求められていること（needs）、資金調達には会費、寄付金、事業収益、補助金等となる。市民活動の原則は、自主性の尊重、対等な関係、相互自立、情報公開であり、市との協働の方法には①委託（指定管理者制度等）②補助（市の財政的支援）③共催、④後援、⑤事業協力、⑥アドプト（美化活動に金銭的支援）、⑦政策提言、⑧情報交換、⑨実行委員会にパートナーとして参加、市民委員も一形態）などがある。

協働に関する市の支援としては、金銭的支援（市民企画事業補助金等）、情報の支援（八込みネットの活用）、場所の支援（市民センター、市民活動支援センター、市役所の各事務所等）、物の支援（ゆめおりファンド等）がある。活動に事例としては、たてキッチン“さくら”や市民による手づくり公園の事例を挙げた。

まとめとして、市民主体のまちづくりやより良いサービスを提供するための手段、地域が主体的に支え合う「地域づくり」を目指す、住み慣れた土地で行き来と安心して暮らし続けるため、地域のために活動する。

私たちワイズとしては、チャリティコンサートの名義後援（すでに実施）、地域の出来れば青少年のためのスポーツ大会や障害者のための事業を立ち上げ、助成金を申請する。ワイズとして市のプロジェクト、例えば市と台湾・高雄市との友好都市（姉妹都市）の事業に高雄ポートクラブとのIBC関係があることから参加するなど今後とも検討する必要があると思われます。



## 外から見た「八王子ワイズメンズクラブ」

福田 勝江(元会員)

始めにブリテン制作に携われて方々及び委員長さんに毎月のご送付頂きありがとうございます。と御礼申し上げます。

この度は課題のとおり退会した私に又ブリテン愛をこよなく言葉にする私にご指名いただき光栄の致すところです。

毎月一度のラブレターに胸が熱くなり、心が躍ります。少し若返らせていただく瞬間でもあります。

外といいましてもあまりピンとこないのが実情です。LINEもお仲間に入れて下さり皆様の言葉が伝わってきます。まるでクラブの内に居るような錯覚になります。しかし私は一昨年退会いたしました。病のためやむを得ずの選択でした。日野市から小金井市に移り、『夜分の例会にも出席できず』が一番の理由です。現在は当時より体調も良くなり、未来への目標を求め、考えたり実行したり致しました。しかし、満たされる事はありません。理由は「ワイズメンズクラブ」で培われてボランティア精神です。在籍年数は皆様諸先輩より浅いですが、懸命に付いて行きました。

皆様方と十余年年月は私にとって一番内容の濃い日々でした。

クラブを離れても『何かの役に立ちたい』と思う気持ちに変わりありません。ワイズで培われた賜物です。クラブのお役にはなれませんが、ワイズメンズクラブの素晴らしさを外部に、そして私の周りに発信できれば幸いです。「外から見た八王子ワイズメンズクラブ」は、力強く叡智と優しさに溢れた素晴らしいメンバーのクラブです。



福田勝江さん(中)

12月のクリスマスにて

## わくわくビレッジ便

担当主事 菅野 牧夫

季節はまだまだ冬ですが、鳥の世界では春に向けて繁殖活動がスタートしているようで森のなかを活発に動き回っています。先日はトラツグミ(鶺鴒)が窓ガラスにぶつかって、瀕死の状態になりました。ヤマバトとカラスがけんかしてヤマバトが命を落としました。食うか食われるか、冬を乗り越えるための栄養を蓄えるため、激しい野生の営みが展開されています。

わくわくビレッジの森に珍しい鳥が現れましたので写真に収めました。アオゲラというキツツキの一種が木に穴をあけていました。わくわくビレッジでよく見かけるのは、コゲラという地味なキツツキですが、アオゲラは緑色の羽と赤い頭が特徴です。人が近づくとすぐ逃げちゃうので、遠くから撮影しているのを見にくいかもしれませんが、木に丸い穴をあけています。これから子育てが始まるのでしょうか？暖かくなったところにアオゲラのひなたちが見られることを楽しみにしています。

わくわくビレッジでは東京都から社会教育事業の委託を受けています。社会教育主事の資格のあるものを毎日置かないといけない決まりがあります。昨年度2名のスタッフの異動があり、社会教育主事有資格者が減ってしまい、シフトを作るのが困難になってきています。社会教育主事資格者を増やさなければいけない命題がありました。昨年度も資格取得のための講習に申し込みをしたのですが、コロナの影響で定員を減らしており、残念なことに受講ができませんでした。今年こそと思っていたのですが、今年度は申し込みが通り、2月6日より2週間2名のスタッフが講習に参加して、資格の取得を目指します。大学の単位取得のようにレポートの提出等があり審査されますが、遅れずにレポート提出をして、単位を落とさず、無事に資格が取れることを祈っています。皆さんも応援してください。



わくわくヴィレッジの「アオゲラ」

## ひつじぐも便

ひつじぐも 本多 宥喜

こんにちは、中央大学国際ボランティアサークルひつじぐもの本多宥喜と申します。

私は12月24日に八王子生活実習所でのボランティア活動に参加させていただきました。

今回はアトリエサークルの活動で、活動当日はクリスマスイブだったということもあり、利用者の方が作ったキャンドルを照らしてイルミネーションを作ったり、紙吹雪を飛ばしたり、また最後に利用者の方が下校した後の清掃活動も手伝わせていただきました。利用者の方が作ったキャンドルはそれぞれ全く異なったデザインで暗い空間の中で光るキャンドルは幻想的でとてもきれいなものでした。紙吹雪は扇風機で紙を飛ばしていくもので、扇風機の風圧がとても強く紙が勢いよく遠くへ飛んで、利用者の方はとても喜んでくれました。私は紙を集めて飛ばす係を担当しており、この作業は結構体力が必要で苦労しましたが、利用者の方の笑顔を見るとそのような苦労も忘れて楽しむことができました。

私は八王子生活実習所でのボランティア活動は今回で4回目ということもあり、私の顔を覚えている利用者の方もいてとても嬉しかったです。今回のような利用者の方と交流できる機会は日常では少ないので、今回のような活動はとても貴重なものだと感じました。ご貴重なお時間をいただきありがとうございます。また八王子生活実習所でまだボランティア活動をしていない人にもこれらの魅力を伝えていきたいと思います。

私は1年間ひつじぐもの実習所係を務め、前述の通り今回で4回目のボランティア活動になりました。これまでの活動でたくさん大切なことを学ぶことができました。これからも積極的に八王子生活実習所でのボランティア活動に参加させていただき、利用者の方との交流を深めたいと思います。



今月の聖句に寄せて (2023年 2月)

インドのある街のホテル裏口で、毎早朝、カラスと人間の戦争がおきている、という話を聞いたことがあります。ホテルで食べ残された残飯をめぐる奪い合いが人間とカラスの間で起きているということです。ずいぶん昔の話ですが、飽食の時代が言われはじめたころのことです。今、この戦争は終わっているのでしょうか。

この冬、食品の提供を求める人がとても増加しています、と、フードバンクの事務局長は言います。また、時々、都内の公園での炊き出しを手伝いに行くという知人の高齢婦人は、炊き出しの食事を求めて並ぶ人の数は数百人に及ぶ、と知らせてくれました。

ジュネーブの町の城門があったところに、モラル広場というところがあるそうです。ヨーロッパの宗教改革で宗教戦争が起こり、戦争で生まれた多くの難民がこの城門におしかけ、城門を開けることを求めたそうです。貧しい町であったジュネーブの人々は、どうするか悩み、相談の結果一つの結論を出しました。ジュネーブの町の人々は、みんな一日断食しよう、そして、難民の人々を迎え入れ、断食して生まれた分を分かち合おう、と決めました。そして、城門を開き、難民の人々を迎え入れた、ということです。今でも、ジュネーブでは、九月の第一日曜日の週の木曜日を難民の日と決めて多くの人が断食をしているということです。自分のものを減らして分かち合う、という精神の実践なのでしょう。

イエスは「あなたがたの手で食べ物をあげなさい」と弟子たちに言われました。言われたとおりにしてみると、わずかと思われた食物は、五千人の人々の空腹を満たし、なお余りあるものがあつた、ということです。信じて行うことから、わずかなものではあつても、余りある賜物を生むことができるということを知らされます。

東京YMCA 近況報告 2月

- 12月初旬から呼びかけていた「東京YMCAクリスマス募金」は1月20日現在、177の個人・団体から合計2,341,000円が寄せられている。国際協力募金、ウクライナ募金、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンドのために用いる。
- 関東大震災から100年になることを記念し、1月22日に全社協・灘尾ホールにて内閣府主催「防災とボランティアのつどい」が開催された。東京YMCAから秋田正人氏(教育・保育事業部/地域福祉事業部統括)が発表者の一人として登壇した。
- 2023年度より品川区北品川(御殿山トラストタワー内)に、「東京YMCAウエルネスガーデン品川御殿山」を新規オープンし、主に幼児から高校生を対象とした水泳クラスを開設する。またプレオープン企画として春休み中に短期水泳講習会を実施する予定。1月25日から受付を開始する他、開設に向けた諸準備が進められている。
- パートナーシップ関係にあり長年支援を続けているバングラデシュYMCAの活動を視察するため、2月19日～26日に5名の職員が現地を訪問する。
- 今後の主な行事日程
  - ・「第17回子育て講演会」1月28日 オンライン  
講師:大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)  
テーマ:「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ～」
  - ・「ピンクシャツデー」(いじめのない世界を目指すキャンペーン) 2月22日
  - ・「第32回チャリティーゴルフ大会」4月13日 会場: PGM総成ゴルフクラブ
- 感謝
  - ・1月7日開催の「在京ワイズ合同新年会」(ウクライナ支援チャリティーコンサート)の席上献金より、東京YMCAウクライナ募金として92,170円をいただいた。
- 深悼 謹んで哀悼の意を表します。
  - ・茅野徹郎氏(元財団法人東京YMCA理事長/名誉会員) 1月1日召天 享年91

(報告)

2023年1月第一例会議事録

日時: 1月28日(土) 18:00~20:00

会場: 北野事務所 2階大会議室

出席者(敬称略)

A班: 長谷川、佐藤、菅野

B班: 並木真、望月、久保田メン・メネット

(Zoom参加: 花輪)

C班: 並木信、茂木、大久保 (Zoom参加: 山本)

中央大学ひつじぐも: 森脇啓心、色川芽生、ゲスト: 酢屋  
合計13名 (+Zoom参加者2名)

ゲストスピーカー: 協働推進課 長尾千恵主査、

卓話: 「協働の街を目指して」

卓話者 協働推進課 長尾主査(別紙参照)

東京YMCA 報告 担当主事 菅野

・日本YMCA大会 11.25~27, ・山手センター70周年  
記念 11.27

・ウクライナYMCA支援報告会開催。

報告・連絡事項 書記・各委員

久保田書記(会長代行)

・2月11日(土)あずさ部第2回評議会(甲府・談露館)  
11:00~14:30 出席者: 花輪、長谷川、小口、久保田

・3月21日(火) 東京グリーンクラブ創立50周年記念例  
会 13:30~16:30 出席者: 花輪、長谷川、久保田

・今期国際会長—KC サミュエル国際会長辞任に伴い、  
1月17日付で次期国際会長のウルック・ラウリドセン(デ  
ンマーク)が就任。主題: Let Your Light Shine(輝かそ  
う、あなたの光を)、スローガン: Good Communication is  
Cornerstone in Every Cooperation.

・協議事項 ・2023-24年度次次期理事候補者及び次期  
行政監事候補者推薦について 締め切り・2月28日

・クラブの活動写真の提供(締め切り2月15日、東日本  
広報委員 山本俊一ワイズ宛)

・長谷川会計報告・

2022/2023年前期決算に基づき説明。大口はひつじ  
ぐも IYC 参加補助予算 30,000, 支払い額 60,000 円、プ  
リター購入費 47,215 円、

・ひつじぐも新入生歓迎草取り及び BBQ 大会  
予定日: 2023.5.27 ひつじぐもとして検討

卓話者: 米山敏裕さんプロフィール

静岡県三島市出身。中央大学卒業。  
大学卒業後、1972年に東京YMCAに指導職として  
入職。

東京YMCAで中央ブランチ、英語専門学校でスタ  
ッフとして勤務。

その後、埼玉YMCAに出向。東京YMCA帰任後、  
武蔵野・杉並ブランチスタッフとして勤務後退職。  
「開発教育協議会のスタッフとなる。

1996年、「アジア協会アジア友の会」のスタッフに  
転身。「アジア協会アジア友の会」が東西に分か  
れ、東京事務所が現在の「地球の友と歩む会」と改  
称。現在、「特定非営利活動法人 地球の友と歩む  
会(Live with Friends on Earth—LIFE)」事務局長。

2023年1月、中央大学YMCAのOB会「白羊会」  
の会長就任。

2月の誕生日  
久保田 佐和子 さん  
2月21日

中大ひつじぐも追い出しコンパ

日時: 3月18日(土) 20:00~21:00

オンライン開催

八王子クラブユース担当: 長谷川さん

